

平成17年度第1回尾張旭市交通問題懇話会

1 開催日時

平成17年6月20日（月）

開会 午後1時50分

閉会 午後4時20分

2 開催場所

尾張旭市役所 南庁舎3階 講堂2

3 出席者名

会長：加藤哲男

構成員：荻原善夫、奥野昌明、加藤桃代、苅谷勝、近藤重男、櫻井栄二、
田中悦子、寺尾信雄、寺田千珠子、戸松秀男、服部正勝、
林喜一、日比野正夫、堀内恵美

顧問：伊豆原浩二

助役：若杉致由

事務局：加藤和人、秋田誠、長江均、若杉博之、喜多野純子、大和弘明

4 議題等

- (1) 交通問題懇話会の開催について
- (2) 試験運行の利用状況等について
- (3) 試験運行見直し案について
- (4) その他

5 会議の要旨

助役あいさつ

市長が他の公務のため出席できないので、代わってあいさつさせていただきます。

昨年度は尾張旭市公共交通試験運行をスタートすることができましたことを改めて感謝申し上げます。今年度も見直し案などについて昨年度に引き続きご議論いただき、実りのある懇話会としていただきますようお願い申し上げます。

(1) 交通問題懇話会の開催について

(まず最初に)

今年から新しく代わられた構成員として、寺尾信雄氏、堀内恵美氏、牧野一吉氏（欠席）の紹介。

懇話会の運営については昨年度からの継続ということで、加藤会長、黒田副

会長の体制で、また、会議の公開・傍聴等についても昨年度と同じ取扱で実施していくことを確認。

(会長)

今年度も引き続きお願いします。

(事務局)

昨年度は10回の懇話会を開催させていただいた。

今年度は8月に見直しを実施し、新ルートによる運行を開始する予定。

アンケートについても昨年との比較のため、内容については昨年度実施したものを元にしていきたい。また、その結果を懇話会、議会にも報告をしていきたい。

(構成員)

今年度の予定の中に、昨年名古屋産業大学と市との共同で行った住民アンケートの報告が入っていないが、いつ頃どういう形でお知らせいただけるのか。

(会長)

現在、集計に時を要している。約600件近く帰ってきていて、速報のようなものはあるが、きちんとした集計をしたいと思っているので、今しばらくお待ちいただきたい。

(構成員)

8月に見直しの実施について、「新ルート」とあるが、車種の変更も含めたルート変更なのか。

(会長)

また後ほどの項目の中で内容の説明がされます。

(構成員)

必要により懇話会の開催を行うとあるが、必要な月はいつ頃なのか。

(事務局)

アンケートの終了した10月から11月頃が次の懇話会の開催と考えている。

(構成員)

今年度の懇話会の開催回数は、比較的少ないと思うのでお話しするが、昨年度の住民アンケートの結果が次回の時しか分からないとすると、対象が現行ルート住民なので、現行ルートから外れてしまった方のアンケートも必要なのではないか。

(事務局)

参考にさせてもらいたい。

(顧問)

アンケートのかかっていないところはどうかという意見で、確かにそういったアンケートも必要だが、その一方で公共交通はどういうものにしていかななくてはならないかという筋道を作ることも必要である。アンケートの実施は一つのご意見として見なければならぬが、それだけではない。

(会長)

住民アンケートの集計速報については、郵送等でお知らせできればしたい。3月時点でのデータとして、返送された9割は乗ったことがないという集計結果である。

(2) 試験運行の利用状況等について

(事務局)

開始から月毎の利用状況を見ると、着実に利用者数が増加している。

第2回目のOD調査結果がまとまったので報告をさせていただく。(平均乗車密度：西ルート(上り) 2.44人、西ルート(下り) 2.18人、東ルート(上り) 2.56人、東ルート(下り) 2.65人、南ルート(上り) 1.23人、南ルート 1.58人)

(構成員)

西ルートの乗車を見て、かなり乗ってるなと思っていたが、平均乗車密度が2.44というのは少ない気がする。

(会長)

平均乗車密度とは最初から最後まで9人乗っていれば9になるものである。

(顧問)

名鉄バスを見てもらえば分かると思うが、採算ベースで考えたとき、2とか3とかの数値で採算を確保するのは難しい。

(構成員)

9人乗りで2とか3しかないと思われるのはつらい。

(顧問)

名鉄バスでは50人乗りで2とか3のところもある。

(構成員)

タクシーの台数もかなり出ているので、その辺りも考えてもらいたい。

(構成員)

上りと下りで利用するのりばに差があるのは、どちらかはジャンボタクシー以外を利用しているということなのか。

(会長)

想像だが、ライフスタイルとバスの運行時間が合わないためと思われる。

(構成員)

80歳以上の高齢者タクシー利用者が減っているという話を聞いたがどうか。

(事務局)

全体の傾向としては減っているが、対象者も増えつつあるのでその辺りを精査する必要がある。

(会長)

厳密に言うと、どこからどこまで行ったタクシーチケットが減ったのかを調べなければわからない。

(構成員)

便利だからというのももちろんだが、広い意味の福祉で、寝たきりを減らす等に役立っている手段の一つだと思う。予算を考える場合には広い視野で考えてもらいたい。

(構成員)

障害者の割引はどうなっているか。本人が料金を払わなければならないというのはおかしい。

(事務局)

自分で外出できる方は、他の人と同じように払っていただく。できない人は付き添いの方を無料とさせていただいている。

(構成員)

JRなら半額である。

(構成員)

昨年、障害者の手帳を見せたら無料にしようか等々の議論があった。当時はやむをえず障害者は有料としたが、基本的にはおかしいと思う。

(構成員)

最初の頃は、運転手も障害者を無料にして、付き添いから料金を取っていたことがある。

(構成員)

回数券の採用を8月の見直しにお願いしたい。早くした方がよい。

(3) 試験運行見直し案について

(事務局)

現在の試験運行の状況を説明。(運行形態、利用者の状況、OD調査の結果、追加タクシーの状況について)

今までに寄せられた意見を集約し、報告。

今回の見直し箇所と次回以降見直しを行うものに分類し、今回の見直しルート案について説明。

(構成員)

南ルートを議論したときに、愛知医大に入る道は混むという意見があったが、大丈夫か。

(事務局)

病院の駐車場を新しく整備した関係と、ため池の整備が完了した関係で、車

の込み具合が大きく改善されている。

(構成員)

東ルートの⑬井田町はどこになるのか。⑭三郷南からの道は狭いと思う。県道を真っ直ぐ行くと時間も短縮できると思うが。

(事務局)

井田町を通ってほしいという要望もあったが、交通空白地も解消できるし、時間的にも計算ができる道である。

(構成員)

南ルートは市バスのターミナルの中を通っていくのか。

(事務局)

現在、名古屋市と調整しているが、ターミナルで転回・通過をしていければと考えている。

(構成員)

運行時間が41分だが、定時運行ができるのかが心配。

(事務局)

試走を行った結果、現在の運行委託先とも確認した結果、この時間で運行できる。

(構成員)

現在の南ルートはかなり時間調整をしているので大丈夫だと思うが。

(会長)

名古屋市営バスときちんと距離的に接続できるのか。また、ダイヤとうまく接続できるのか。

(事務局)

名古屋市営バスは運行も密だし、停留所の距離もほとんど離れていない。

(構成員)

西ルートの⑯霞ヶ丘町南は敷地に入るのをなくしてもよいのではないかと。運行ルート上にのりばを設置してはどうか。スペースがなければいけないが、踏

み切りの北側はちょっと広がっている。

(事務局)

安全という意味で中に設置する方向で考えたい。

(構成員)

西ルートの③を保健センター、⑳を渋川センターに名称変更できないか。また、⑨を平子町にしてはどうか。⑧の長池上公園と間違えやすい。

(事務局)

試験運行ではない時期、来るべき時には名称等を一括して改善してはどうか。

(会長)

運行业者が間違えるといけないので、厳重にやってほしい。

(構成員)

三好町の運行収入が高いのは何か理由があるのか。

(事務局)

名鉄が撤退し、大きなスーパーがあり、住宅開発が進んだのが一つの要因に考えられる。

(顧問)

運行経費はあまり比較するものではない。どのようなサービスを検討してきたかが問題。三好ヶ丘では自分たちでバスを走らせるほど意識が高まっている。以前は65歳以上の方がほとんどだったが、今は10代、20代の人も乗っている。何年もやってきてどのようなサービスをすればよいか分かってきた。ただ収入を増やすだけでなく、バス停のまわりの状況を時刻表に記すなど、みんなが楽しく乗れる仕組みを考えなければならない。追加タクシーにしても5分まで待てるのか、10分までなら待てるのかを考えなければならない。そうでないと1度乗っただけで人が離れていってしまうかもしれない。次の見直しにはちゃんと方針（見直しの方針・ルール）を作っておかないと、これからはいけない。また意見がきたら直していくことになってしまう。

(構成員)

この改正案はこれで結構だと思う。次回以降での検討課題の中で、試験運行であれば日曜日の試験運行もいつか時期を設定してやらざるをえないのではな

いか。夏休みにやるなど、日曜日の掘り起こしをお願いしたい。追加タクシーについては10分ならきっちり10分で来れるようにしてほしい。車種の変更も議題にしてほしい。車両購入費も国から助成を受けられるはずだが、どうであろう。長久手町（愛知医大）に入る場合（2つの地域にまたがる場合）は県の助成があるはずだが。

（事務局）

現在も国から補助金をもらっている。用途として、車両購入費にあてるか運行費にあてるかという問題なので、運行費に充てている。県の助成については把握していないが、路線バスについては2つの地域にまたがって10km以上であれば対象になる。

（顧問）

県の助成は路線バスのみであって、コミュニティバスは対象外である。

（構成員）

要望として車種の見直し時期を早めてほしい。

（構成員）

次回以降の検討課題とあるが、次回というのはいつなのか。

（会長）

見直しの視点で予算の範囲内というのが腑に落ちない。次回には予算を用意して見直しを検討していきたい。また、事務局は本格運行まで待ってくれみたいなニュアンスで話をされるが、本格運行に移る前に、試験運行で中身をしっかりチェックしなければならない。

（事務局）

今は8月に予定している見直しに全力を期していきたい。その後、公共交通にどれだけの予算をかけられるか、今後必要な手続きもあるので検討しなければならない。

（顧問）

簡単なダイヤモンド系をやってみたりいろいろな試験をやるべきではないか。今回のルート改正はこれでよいが、次のステップに持っていくには整理しておかなければならないことがある。

(構成員)

市役所東のりばへの移動は次回以降じゃないと駄目なのか。東玄関への移動は難しいのか。

(事務局)

次回以降の検討をお願いします。

(会長)

市はこう考えているという根拠をもうちょっと教えてもらえないか。それがないと構成員の皆さんが理解できない。事務局には、次回の懇話会の宿題として今後の見直しの方向を示してもらいたい。

(構成員)

予算内の範囲内で見直しをするというが、追加タクシーの予算はどうなっているのか。

(事務局)

契約中の想定の中に入っている。

(会長)

障害者の料金はどうするのか。

(事務局)

障害者はこれまでどおり有料とさせていただきたい。

(4) その他

(事務局)

次回の懇話会の日程はまだ定まっていないので、調整でき次第連絡をさせていただきます。